



まよりの詩
まことの詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1972年版

Atsumi K.

新詩
友(友)の詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1972年版

この年刊詩謡集に輝きあれ

サトウ ハチロー

ボクは二十三の時に、当時新潮社から出ていた年刊詩集に、詩をのせてもらった。

うれしくってたまらなかった。一日に何度となく、その詩集を開き、自分の詩を出して読みあげた。

からだをはずませて読んだのだ。

作詩家協会のこの年刊詩謡集に、詩を出した人の中に、昔のボクのようなキモチでいる人が沢山いるにちがいない。ボクは、その人たちに、拍手をおくる。そうして、次のようなコトバをおくる。

「今年より来年、さらに次の年は、いまの詩よりもなおすばらしいものを書きたまえ」

ボクは、弾力のあるコトバで綴られた、若い人たちの詩が好きだ。読んでいると、うれしさがこみあげてくる。作詩家協会は、くる年もくる年も、年刊詩謡集を出して行く。ボクはこういうよい仕事をつづけて行く仲間をもっていることを、大きなホコリに思っている。

(日本作詩家協会会長)

昭和四十六年初冬

もくじ

この年刊詩謡集に輝きあれ	サトウハチロー	一	
愛はいくたびか	アベ・イチロー	六	
その気になれば	吾妻	ゆきお	元
酔いどれ未練東京	飛鳥井	芳郎	三
あなたは命だった	青江	ひとみ	二
五月のある日	青木	一大	三
酒場女とマドロスさん	青木	三郎	三
やさぐれ女と呼ばれても	青山	由起	四
誰かが歌う子守唄	秋田	泰治	五
行かせてください	浅熊	幸	六
さすらいのブルース	浅野	国雄	七
待ちわびた季節だから	浅野	哲秋	六
たいせつなこと	芦北	一夫	元
サッポロ サタデーナイト	芦田	しげる	三
大漁北海船唄	東	声光	三

男	鯉	荒川	利夫	三
それでも君を愛していたい	綾部	孝男	三	三
あなたの星をさがしましょう	淡島	千佳夫	三	三
浜名湖のわたし	いけや	かつとし	三	三
涙と恋だよ……人生は	いしの	真由美	三	三
あれは恋でした	井田	誠一	三	三
くされえん数え唄	伊勢	ひろし	三	三
雪	伊丹	将人	三	三
新宿しぐれ	伊藤	一生	三	三
島むすめ	伊吹	とおる	三	三
或る一兵士のうた	飯塚	義美	三	三
帰って来た町	筏	文絵	三	三
すすきの暮し	池上	信	三	三
海に逢いたい	池田	充男	三	三
女の戦い	石井	友子	三	三
ふるさとの涙	石川	泰久	三	三
栄光の大地	石本	きよし	三	三
明日への汽車に乗ろうよ	石本	美由起	三	三
盛り場の夜	猪俣	泰彦	三	三
奈良慕情	岩崎	吉太郎	三	三
恋地獄	岩崎	静江	三	三
雪おんな	岩瀬	ひろし	三	三
ミモザの花に泣きました	宇田川	潔	三	三

バラの遺書	宇山	清太郎	五
なさけ舟	植田	竹雄	五
解 禁	宴	ゆり	五
カイロの女よ	梅田	幸三	五
倅せになるんだよ	梅本	としお	五
秘 密 の 鏡	浦田	常治	六
恋する一週間	海老沢	孝一	六
あなたあつての私です	遠藤	英一	六
ふるさとの雲	オマタ	ハチロウ	六
大正ブルース	おいだ	みのと	六
リングがお酒になるように	おぐろ	けいこ	六
下町の天使	小川	淳	六
さよならは水色の言葉	小口	幸重	六
愛のスクリーン	小野	津加佐	六
えりも旅愁	小野	まさあき	六
捧げた夜などあつただけ	越智	としこ	七
青 空 よ	及川	肇	七
雪の街慕情	大久保	まこと	七
高松で逢いました	大久保	正弘	七
恋はまぼろし	大坂	秀次郎	七
男の三三七拍子	大沢	昭男	七
男と女の恋	大竹	ゆきを	七
流れ花ブルース	大竹	敏雄	七

別れまちハコダテ	大竹	貢	六
レイ子のブルース	大渡	弘良	七
旅ごころ	大野	いくを	八
妹よ しあわせに	大橋	哲郎	八
屋台仁義	大橋	虎之助	八
米原駅慕情	大場	かんじ	八
姉のような人	大屋	哲夫	八
長瀬旅愁	岡田	壮三	八
ふるさとの駅	岡野	極	八
夢よあたしを捨てないで	荻原	秀夫	七
最後のさよなら	落合	良雄	六
にげた恋	鬼崎	知子	六
恋は三つの色で	かわうち	登	六
炎と霧のファンタジー	加倉井	志保	六
霧の中の恋	加藤	省吾	六
おんなの酒	鹿野	里美	六
へそまんの歌	門井	八郎	六
伊香保の花	鎌田	洲見雄	六
半生	川村	きよじ	六
愛の残像	河井	哲治	七
女の小雨	きだ	たろう	六
恋はレモンワイン	木村	二郎	九
宗谷の果てに泣く女	菊地	英夫	二〇

愛のわがまま	北町	しのぶ	101
秘めごとの恋	くるみ	広彰	102
男の涙はただ一度	工藤	りつお	103
花散る人生	黒白	ミノル	104
男	桑	早苗	105
聖書	小嶋	かずひろ	106
極道女のながれ唄	小島	高志	107
少年クラブの歌	小谷	健一	108
いかるがの里	小林	とくさ	109
一匹男	小林	金次郎	110
幸せを君に	古神子	民雄	111
夜の幕切れ	ごとう	としのぶ	112
銀座の枯すすき	五条	ユキシロ	113
エキユメノポリス・トウキョウ	越砂	温夫	114
パパの子守唄	紺野	正	115
しょぼしょぼは似合わない	サトウ	ハチロー	116
法善寺のおんな	さとう	ありひろ	117
人形の涙	佐伯	孝夫	118
破門	佐久間	清詩	119
女の剥製	佐久間	常夫	120
とぎれた世界	佐東	たどる	121
初秋	佐藤	まさみ	123
罪な人	佐藤	豹一郎	123

母は神様	佐藤	木章	二四
偶 然	佐野	和子	二五
人間開花	齊藤	政美	二六
ふられた男の行く先は	酒井	鉄男	二七
男ひとり雨の日に	酒井	良之佑	二八
愛のなごり	神	のぼる	二九
旅立ちのうた	坂口	雅輝	三〇
昔の俺は	坂田	あふる	三一
ナ ナ	咲山	道雄	三二
しの笛の村	沢	みね登	三三
なみだ花	じゅん	知央	三四
二人の恋の夜光時計	四賀	郷子	三五
新・おんなぶるーす	志賀	大介	三六
恋人がいないから	紫藤	孝	三七
学園おどり	清水	みのる	三八
山男哀歌	斯波	一絵	三九
恋はアクセサリー	鹿倉	義一	四〇
さいごの言葉はさりげなく	重枝	敏夫	四一
雨のお茶の水	篠原	鑑明	四二
恋 地 獄	柴田	よしかず	四三
あきらめの渚	波沢	登麿	四四
親爺は馬鹿な奴だった	渋谷	郁夫	四五
噂に花が咲いたとき	島田	磬也	四六

啄木慕情	島田芳文	一四〇
男人生勝負	首代千恵	一四一
ふるさとの駅前通り	周東敬二	一四二
ジャンケン人生	白井喜一	一四三
長野の人	白土やすじ	一四四
恋あそび	白水かおる	一四五
別れの手紙をあてに	すぎきこういち	一四六
ああ択捉海峡	須沢玄詩	一四七
アバヨさよならダムの町	須田ひろし	一四八
淋しそうだな	眇田栄一	一四九
アバンチュールをしてみない?	鈴木昭一	一五〇
酒ぐれ艶歌	鈴木哲郎	一五一
ネオン無宿	鈴木雅矢	一五二
別れてからでは遅い	鈴木宗敏	一五三
新宿一人歩き	砂見爽	一五四
佐渡の子守唄	瀬川百合子	一五五
ありがとう さようなら	関口義明	一五六
恋の枯葉	相馬詩彦	一五七
でっかい愛	相馬日照	一五八
甚平さんはお人好し	たなかゆきを	一五九
友だち	田中凡才	一六〇
友情	田畑しげき	一六一
ふたりの人生	田淵耕人	一六二

私という女(二題)	田村	順子	一七〇
秋のころ	田村	和男	一七三
流氷女	高上	あゆむ	一七五
輪島恋歌	高木	順子	一七四
男のラブ小唄	高城	昭	一七五
ふたりの旅	高瀬	臣子	一七六
無常の唄	高月	ことば	一七七
ふたりの夜は帰らない	高橋	高威	一七六
遺書	高橋	秀佳	一七九
帽子でいいわ	高畑	和之	一八〇
恋の挽歌	滝川	たけお	一八〇
ヨイショ、ヨイショ船	宅見	愛子	一八三
うらぶれギター	谷田	幸平	一八三
男の道	玉木	一史	一八四
砂漠の旅人のように	ちば	ゆきを	一八五
マリアの岬	対馬	慎一郎	一八六
ノスタルジー・東京	塚谷	清一	一八七
危険な炎	筑紫	みなも	一八八
すばらしい人	土屋	紅	一八九
故郷へ誘いたい	角田	由子	一九〇
ここが勝負の場所だった	鳥羽	もと子	一九二
札幌の夜に泣きたい	道仙	邦紘	一九三
夜霧の青葉町	遠山	武男	一九三

夜霧の町で	さようなら	富田	清吾	一九四
邪恋		富山	紫峰	一九五
運命に乾杯!!		中司	雅子	一九六
籠渡の灯		中野	惣太郎	一九七
ハートの鍵		中野	芙美世	一九八
プラタナスの星空		中林	きみを	一九九
砂の文字		中村	あきら	二〇〇
愛の夜明け		中山	かずとし	二〇一
十日町ブルース		中山	邦雄	二〇三
恋の潮時		中山	大三郎	二〇三
思い出はむらさきに		渚	真砂子	二〇四
風雪おとこ唄		成瀬	左千夫	二〇五
愛罪		二条	冬詩夫	二〇六
しあわせな朝		西沢	爽	二〇七
知らないくせに		能勢	英男	二〇八
今夜もおそくなっただけ		野々	哲幸	二〇九
愛しているのに		野本	高平	二一〇
真赤なコート			ゆり	二一一
男花			はせやま	二一二
城下町旅情			ははまだ	二二三
夜が悪いの			長谷川	二二四
能登慕情			橋本	二二五
太陽は沈んだ			八反	二二六
			ふじを	二二六

鉛筆だより	……	服部	明郎	……二七
人生の唄	……	英	玲二	……二八
黒・白・赤の泪	……	林	秀夫	……二九
うたかた	……	播	智行	……三〇
明日から	……	伴在	主計	……三一
恋の字遊び	……	平井	健一	……三三
涙のシルエット	……	ふじと	たかし	……三三
遠い町	……	藤田	まさと	……三四
ふるさとの子	……	藤間	哲郎	……三五
隅田夜情	……	藤村	閑夫	……三六
男のさすらい	……	古市	哲夫	……三七
一對一の交際	……	古館	多加志	……三八
館山	……	北條	新太	……三九
朝のゆくえ	……	星合	節子	……四〇
私の飼い主	……	星野	哲郎	……四一
化石の町	……	細川	憲哉	……四三
よしきり情話	……	本城	さとる	……四三
東京人魚	……	本多	祈美男	……四四
恋の墓標	……	本間	繁義	……四五
情話の女	……	本間	長三郎	……四六
汚れついでにもう一度	……	摩耶	としみ	……四七
梅郷ブルース	……	真弓田	幸一	……四八
ちぎれ雲どこへ	……	牧	房雄	……四九

女の履歴書	増子	善典	二〇〇
しのばずの池	松井	由利夫	二〇一
白いあやまち	松浦	志津夫	二〇二
遠いところまで	松尾	幸雄	二〇三
おとこ舟	松岡	美勝	二〇四
あなたのために	松本	英祐	二〇五
哀しい女の雨が降る	松本	摂子	二〇六
あなた行きの急行列車	松崎	暎子	二〇七
うそつき東京	松山	幸二	二〇八
他人の花	みずの	稔	二〇九
祈り	みなみ	早苗	二一〇
ブルーシルクの雨降る東京	三浦	貞雄	二一一
愛の砂漠	三上	博司	二一二
東京シャワー	三鷹	彰	二一三
織機一代	三益	武司	二一四
まごころのマーチ	三宅	立美	二一五
もっと真面目にやりなされ	三井	徳好	二一六
夕陽の海	美須	史朗	二一七
未練ギター	美山	鋭太郎	二一八
恋の鎮魂歌	水木	かおる	二一九
変心	水紀	亜美	二二〇
波止場野郎	港	ひろし	二二一
椰子と私	南	咏子	二二二

秋風とあなた	南	由紀	二六三
ノミの唄	南沢	純三	二六四
酔どれ月夜	峰	よしを	二六六
橋の向こうは君の町	宮沢	章二	二六七
大きな坊や	宮沢	守夫	二六八
どうする小唄	宮田	隆	二六九
夾竹桃とわたし	宮中	雲子	二七〇
あやまち	宮本	かずや	二七一
柱時計	村山	二永	二七二
おんなの誓約書	村上	文恵	二七三
羽後の子守唄	村上	みのる	二七四
東京がまわる	森	めぐみ	二七五
日高	森山	としはる	二七六
朝がこなけりゃいいの	やまうち	亮	二七七
おんなの炎	やまもと	よしき	二七八
遠い山彦	矢ヶ部	信次	二七九
私は年上かこわれ女	矢萩	信孝	二八〇
愛のお城	安江	千秋	二八一
終らざる愛を探して	柳	英二	二八二
この地球を愛しているなら	山上	武夫	二八三
男なんて	山口	勝子	二八四
ためらい	山口	洋子	二八五
とは言うものの恋ならば	山田	佳泉	二八六

恋の反抗	山田	千恵子	二七
心の中の純ちゃん	山田	輝久	二八
君は遙かな土佐の女	山本	直	二九
英雄伝	雪野	斗詩夫	三〇
恋遊び	夢	虹二	三一
札幌のそんな恋だった	吉田	弘	三二
女のかおり	吉野	ひとし	三三
ふふふ……	わたなべ	ちかお	三四
ハワイの子守歌	渡辺	真早登	三五
		(五十音順)	
あとがき	藤間	哲郎	三六

題字 藤田まさと
表紙「やすらぎ」 唐崎あけみ